

## インターブルの年次総会に出席しました

平成29年9月29日  
(独)家畜改良センター

8月26日～8月28日にエストニアの首都タリンで開催されたインターブルの年次総会およびEAAAP（ヨーロッパ畜産学会）とのジョイントセッションに出席しました。

インターブル（所在地：スウェーデン・ウプサラ）とは世界中の乳用種雄牛の遺伝的能力の国際的な比較を行うために国際評価を実施する組織で、日本は2003年から参加しています（現在の加盟国数は35カ国）。インターブルでは1年に一度、参加国が集まる年次総会がEAAAPまたはADSA（米国酪農科学会）の年次大会とICAR（家畜の能力検定に関する国際委員会）の総会と交互に共同で開催されます。

年次総会では、実務的な話し合いを行うビジネスミーティングにおいて、2016/2017におけるインターブルの活動報告や親子判定のためのSNP情報の交換データベースなどについて、議論されました。また、各国の研究者が研究成果や遺伝的能力評価手法などを発表するオープンミーティングでは、SNP情報を用いたゲノミック評価に関する発表や乳用牛の疾病形質や繁殖形質に関する遺伝的能力評価など様々な発表が行われました。



開催場所「Hotel Euroopa」



会議風景



タリンの風景